



湧水の季節変化（現地写真）

H16. 6. 10. 撮影



H16. 10. 11. 撮影





湧水の季節変化（現地写真）

H16. 6. 10. 撮影



H16. 10. 11. 撮影





湧水の季節変化（現地写真）

H16. 6. 10. 撮影



H16. 8. 2. 撮影



H16. 10. 11. 撮影



# 湧水台帳

湧水No.	4	所在地	不老川本流、藤沢13号橋下流左岸
湧水のタイプ	伏流	標高 WL (m)	94m
湧水の利用	なし	周辺環境区分	農地、住宅地
護岸状況 (河川の場合)	2面護岸 底質は礫と泥	地質	砂礫層(立川礫層)

## 現地写真

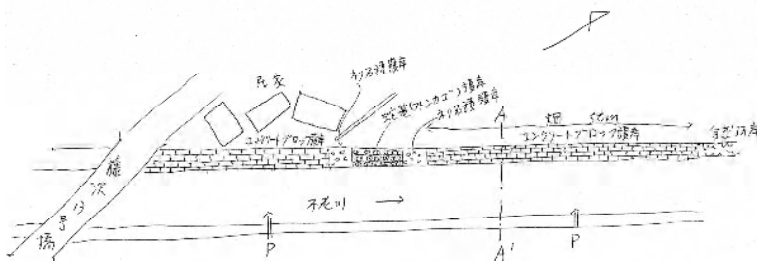
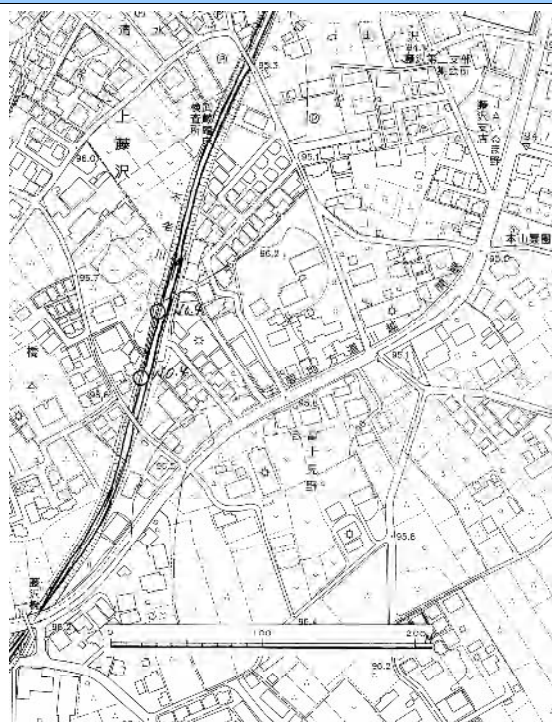


## 周辺環境など

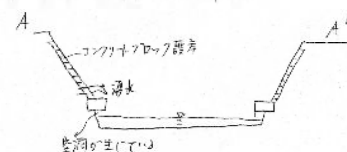
藤沢13号橋下流左岸100m程の区間に蛇籠護岸を挟んで長さ30m及び50m程のコンクリートブロック護岸があり、その最下段ブロック割れ目、打ち継ぎ目から湧水していた。下流側の方が湧水量は多かった。右岸も同じ護岸の構造であるが、湧水は左岸のみであった。護岸フーチングの下は侵食されて空洞になっている。

6/10 通常夏には湧水しているが、今回はなし。  
 8/2 台風10号一過後にも拘らず湧水なし。  
 10/11 上流ブロック護岸 藤沢13号橋下流10m地点から3m程度の間隔で4ヶ所から湧水。下流ブロック護岸真中辺で3m程度の間隔で13ヶ所から湧水。いずれも最下段とその上のブロックの上部継ぎ目より湧水。但し最下段ブロック上部継ぎ目からのものが圧倒的に多い。全部合計すると100λ/分程度か？

## 見取図等



藤沢13号橋下流左岸の30m~50mのコンクリートブロック護岸最下段部でのブロック割れ目(打ち継ぎ目)から湧水していた。下流側はコンクリートブロック護岸の5ヶ所、上流は湧水は3ヶ所、護岸の砂礫層左岸側とも全く同じであった。湧水は左岸部のみ。



## 湧水の季節変化 (簡易観測結果)

調査日	調査時間	天気	気温(℃)	水温(℃)	湧水量(λ/分)	湧水の状態	1週間前降水量(mm)	備考
6月10日	15時00分	曇り	26	—	0	なし	15	
8月2日	10時00分	晴れ	30	—	0	なし	60	台風10号一過後
10月11日	10時00分	小雨	25	18	8.6*	多数	357	※最大湧水地点の計測値

※湧水の状態：しみ出し、伏流、水溜り、その他(状態を備考欄へ)に区分  
 湧水量が測れない場合は、多い：+++、普通：++、少ない：+ に区分

湧水の季節変化（現地写真）

H16. 6. 10. 撮影



H16. 8. 2. 撮影




H16. 10. 11. 撮影



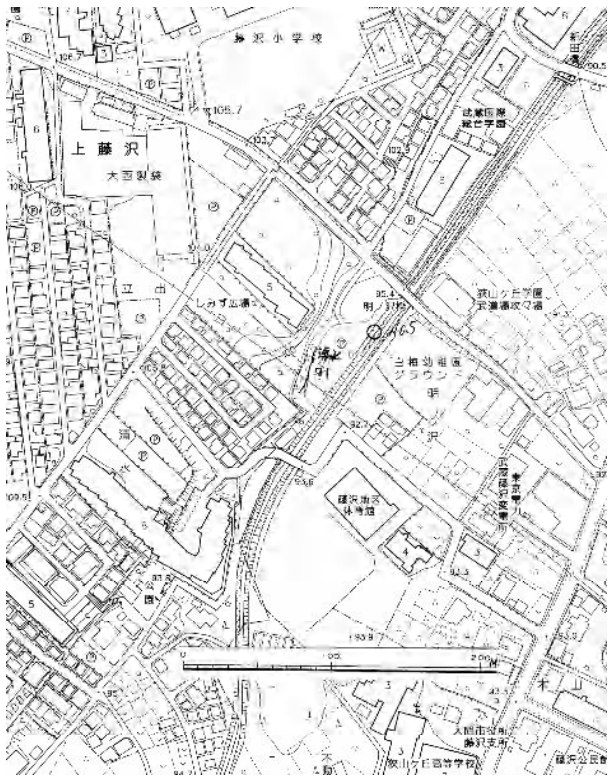
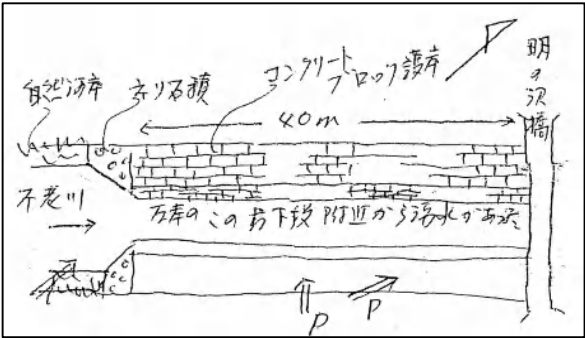


# 湧水台帳

湧水No.	5	所在地	不老川本流 明の沢橋上流左岸	
湧水のタイプ	伏流	標高 WL (m)	90m	
湧水の利用	なし	周辺環境区分	住宅地	
護岸状況 (河川の場合)	2面護岸 底質は礫と泥	地 質	砂礫層(立川礫層)	

現地写真	周辺環境など
	<p>左岸コンクリートブロック護岸の下段の割れ目、打ち継ぎ目より湧水があったが、  <b>6/10</b>時点では認められなかった。西側に近接している下末吉台地の崖下にもかつて湧水が見られたが、マンション建設後枯渇して今は見られない。  <b>8/2</b>の台風一過後の計測でも湧水はなかった。  <b>10/11</b> 左岸コンクリートブロック護岸上流端より4m程度下流のコンクリートフーチングと護岸ブロックの継ぎ目から湧水。これより下流ではフーチング上まで冠水していて、確認出来ず。</p>

## 見取図等

	
--	--

## 湧水の季節変化(簡易観測結果)

調査日	調査時間	天気	気温(℃)	水温(℃)	湧水量(λ/分)	湧水の状態	1週間前降水量(mm)	備考
6月10日	15時30分	曇り	26	—	0	なし	15	
8月2日	9時45分	晴れ	29	—	0	なし	60	台風一過後
10月11日	9時35分	小雨	18	18	—	チョロチョロ	357	流水が湧水点スレスレに冠水。計測不能。

※湧水の状態：しみ出し、伏流、水溜り、その他(状態を備考欄へ)に区分  
 湧水量が測れない場合は、多い：+++、普通：++、少ない：+ に区分

湧水の季節変化（現地写真）

H16. 6. 10. 撮影



H16. 8. 2. 撮影



H16. 10. 11. 撮影

